

平成30年度 行政評価事業別シート

	実計対象 ■	評価対象 ■	新規 □	完了事業 □	ゼロ予算事業 □	担当者	村石 孝子
	全体計画			経費区分	実施計画事業費	内線	246-2104
事務事業名	4277 学校給食センター施設整備事業						
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課						
施 策	02010700 特色ある魅力的な学校づくりの推進						
予算科目	会計	01 一般会計					
	科目	100704 教育費・保健体育費・学校給食費					
	事業	030000 学校給食センター施設整備事業					
事業目的				事業概要・効果			
安全な給食を提供するため、施設・機械器具等の整備を計画的に行う。				現在の衛生基準にあった備品を、新たなセンターでも使用可能なものを中心に更新する。 昭和51年建設の給食センターを、現在の衛生基準に則した新しい施設に建替える。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
新センター建設候補地の地形測量とボーリング調査1箇所実施。 ボイラー貯湯槽の修繕、備品購入（コンテナ1台、パンラック等）を実施。	新センター建設に向けPFIの可能性調査・測量・地質調査・補償調査を実施。 備品購入（調理場棚1台、冷蔵ショーケース1台、フードスライサー1台、コンテナ1台）を実施。
平成29年度 実績	平成30年度 予定
新センター建設に向けPFI手法による整備運営事業を進めた。PFIアドバイサリー業務の委託を実施。立木等の補償、用地購入を実施。造成・上下水道の設計を実施。	新センター建設に向けPFI手法による整備運営事業を進める。PFIアドバイサリー業務・モニタリング業務の委託を予定。一次造成・上下水道の工事を予定。
平成31年度 予定	平成32年度 予定
PFI手法による整備運営事業を進める。水路改修等関連工事を行う予定。	2学期より新センター稼働予定。

指標名	新センター建設進捗状況：地質調査				
算式	実施した調査費用の総額÷必要な調査の総額×100				単位 %
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標	100	0	0	0
	実績	100	0	0	
指標選定の理由	PFI事業以外で算出。地質調査費用（H27年度実施 地質調査1,393,200円+H28年度実施 2,181,600円）必要な調査の総額 3,574,800円。				
最終年度目標の根拠	建設のための調査等の完了を100%とする。				
指標名	新センター建設進捗状況：測量・補償調査・土地価格調査・設計委託等				
算式	実施した調査費用の総額÷必要な調査の総額×100				単位 %
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標	28	94	6	6
	実績	28	94	0	
指標選定の理由	PFI事業以外で算出。測量・補償調査・土地価格調査・設計委託等（H27年度実施 測量・土地価格調査 984,960円+H28年度実施 1494720円+H29年度 5,788,720円+H30年度予定 500,000円+500,000円）				
最終年度目標の根拠	建設のための調査等の完了を100%とする。				
指標名	新センター建設進捗状況：工事費				
算式	実施した工事の総額÷必要な工事の総額×100				単位 %
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標	0	0	100	100
	実績	0	0		
指標選定の理由	PFI事業以外で算出。工事費等（H30年度実施予定 予算額 75,000,000円） H31 " 30,000,000				
最終年度目標の根拠	平成32年度100%とする。				

事業費

(単位：千円)

		平成29年度 決 算	平成30年度 予 算
事業費		11,816	102,504
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	56,200
	その他	0	8,000
一般財源		11,816	38,304
人員数(人)	正規職員	0.3	0.4
	嘱託職員	0.0	0.2
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	2,144.7	2,859.6
	嘱託職員	0.0	553.2
	臨時職員	0.0	0.0
	計	2,144.7	3,412.8
市民一人当たりの経費		0.3	2.0
総額		13,960.7	105,916.8

(単位：千円)

平成29年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	164	整備運営事業者選定審査委員報酬
11節 需用費	0	
13節 委託費	10,619	調査等委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	1,000	上下水道工事積算負担金
その他	33	旅費

(単位：千円)

平成30年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	450	整備運営事業者選定審査委員
11節 需用費	0	
13節 委託費	23,110	設計その他委託料
15節 工事請負費	75,000	上下水道整備工事ほか
19節 負担金補助及び交付金	3,754	水道事業分担金、上下水道工事整理事務負担金
その他	190	備品購入費ほか

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	新センター建設は、現在の学校給食法に基づき必要	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	H32年の新センター稼働に向け、計画を進めている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	PFI手法を用いるなど、効率性向上に努めている	

振り返り（決算年度の取組み課題）
建設予定地の購入を行った。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
<p>事業契約が締結できれば、打ち合わせ、相談を重ね十分連携を取りH32年の稼働に向け、計画を進めていく。</p>	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
<p>着実に進めることが必要</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	